

台場シャトルバスの運行状況について

台場シャトルバスは、平成24年4月から台場シャトルバス運営協議会により、運行開始5年目までに収支率100%を確保することを条件に運行を開始しました。しかし、事業継続の条件を達成することができなかつたため、台場シャトルバス運営協議会は平成29年3月末で事業から撤退し、解散しました。

平成29年度からは、令和3年度までの5年間で黒字化を目指し、自主運行を目指すスキームで運行を継続しています。

1 運行状況について

(1) 利用者数

令和2年度の利用者数は480,938人で、令和元年度と比較して、327,786人(40.5%)減少しました。

	2年度	元年度	対前年比
利用者数	480,938人	808,724人	59.5%

(2) 収支率

令和2年度の収支率は61.3%で、令和元年度と比較すると27.7ポイント減少しました。

次に、収入についてみると、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う利用者の減少により、運賃収入と広告収入の減少により約6,200万円減少しています。

一方、支出は、営業所の移転による施設利用料の削減や、組織の効率化に伴う人件費の削減等により約1,900万円減少しています。

(単位：千円)

	収入			支出	収支	補助金	収支率
	運賃収入	広告収入等	計				
元年度	152,058	9,933	161,991	182,092	▲20,101	20,101	89.0%
2年度	91,317	8,604	99,921	162,987	▲63,066	63,066	61.3%

(3) 運行経費補助金

台場シャトルバスは、平成29年4月から5年以内の黒字化を目指して、区は1億円を上限に、運行経費と運行収入の差額について補助しています。

令和2年度の補助金額は、63,066,000円でした。令和元年度末からの新型コロナウイルス感染症の拡大による減収分は、補助上限額の1億円とは別に新型コロナウイルス影響分として交付しています。

(単位：千円)

年度	予算額	運行経費 補助金額	1億円上限枠内	
			1億円上限枠内	コロナ影響分
平成29年度	50,000	44,501	44,501	-
平成30年度	28,000	24,179	24,179	-
令和元年度	27,000	20,101	13,329	6,772
令和2年度	9,000	9,000	-	9,000
令和3年度(補正予算※)	54,066	54,066	-	54,066
令和3年度(当初予算)	20,000	-	-	-
合計	-	151,847	82,009	69,838
残額	-	-	17,991	-

※令和2年度運行経費補助金の追加交付分（感染症拡大による減収分）

2 令和2年度の実績

新型コロナウイルス感染症の拡大による緊急事態宣言の発出に伴って減便対応を実施しました。そのほか、車内における感染症の拡大防止のため、車内の消毒・換気、乗務員のマスク着用を徹底し、安心して利用できるバス環境作りに努めました。

また令和2年11月には、利用促進キャンペーンを実施しました。

3 令和3年度以降の実績

引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じるとともに、令和3年9月からは新たなキャッシュレス決済であるNFCタグの実証実験（令和3年9月～令和4年3月末）を開始しました。

今後も利便性向上策や台場地区住民、企業と連携した認知度向上策に取り組み、収支率の改善を図ります。